

平成27年2月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成26年7月11日

上場会社名 株式会社カンセキ 上場取引所 東
 コード番号 9903 URL <http://www.kanseki.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 長谷川 静夫
 問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役 管理本部長 (氏名) 高橋 利明 (TEL) 028-659-3112
 四半期報告書提出予定日 平成26年7月14日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成27年2月期第1四半期の連結業績 (平成26年3月1日～平成26年5月31日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年2月期第1四半期	8,030	6.3	329	35.3	249	58.9	167	54.2
26年2月期第1四半期	7,558	△1.5	243	△26.9	156	△38.0	108	△31.6

(注) 包括利益 27年2月期第1四半期 187百万円 (34.0%) 26年2月期第1四半期 140百万円 (△10.8%)

	1株当たり 四半期純利益		潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益	
	円	銭	円	銭
27年2月期第1四半期	11	34	—	—
26年2月期第1四半期	7	35	—	—

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年2月期第1四半期	27,423	19.5	5,352	19.5	—	—
26年2月期	25,830	20.1	5,193	20.1	—	—

(参考) 自己資本 27年2月期第1四半期 5,352百万円 26年2月期 5,193百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
26年2月期	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
27年2月期	—	1.50	—	2.00	3.50
27年2月期(予想)	—	1.50	—	2.00	3.50

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成27年2月期の連結業績予想 (平成26年3月1日～平成27年2月28日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円	銭
第2四半期(累計)	15,758	1.4	640	2.9	487	5.7	264	△7.0	17	83
通期	30,515	1.2	871	12.5	565	23.0	279	5.3	18	85

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
 新規 一社 (社名) 、除外 一社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	27年2月期1Q	16,100,000株	26年2月期	16,100,000株
② 期末自己株式数	27年2月期1Q	1,297,263株	26年2月期	1,297,263株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	27年2月期1Q	14,802,737株	26年2月期1Q	14,803,822株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	6
四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間(平成26年3月1日から平成26年5月31日)におけるわが国経済は、政府による経済、金融政策の効果や個人消費の持ち直し等により景気は緩やかな回復基調を見せております。しかしながら、個人消費動向は増税実施により不安定な状態で推移するものと考えられ、依然として先行き不透明な状況が続くものと思われま

す。このような経済状況の中、当社グループは、営業面において、消費税増税に伴う3月の駆け込み需要により前年と比較して売上が伸長いたしました。4月以降は、反動減の影響が見受けられたものの、想定した範囲内で推移しております。経費面では、電気料金の値上げ、世界的な原油の高騰や円安による仕入れコストの上昇など経費の増加要因が生じておりますが、経費削減に向けた様々な取り組みを引き続き実施し、利益の確保に努めました。

これらの結果、売上高は80億30百万円(前年同四半期比6.3%増)、営業利益は3億29百万円(前年同四半期比35.3%増)、経常利益は2億49百万円(前年同四半期比58.9%増)、四半期純利益は1億67百万円(前年同四半期比54.2%増)となりました。

なお、報告セグメント別の業績は次のとおりであります。

[ホームセンター事業]

ホームセンター事業につきましては、増税前の3月において、日用雑貨品、ペット用品、物置などのエクステリア関連商品に駆け込み需要による動きが顕著に見られ、売上高は前年同月の実績を大きく上回りました。しかしながら、増税後の4月は駆け込み需要の反動減の影響を受け、売上高は低迷いたしました。その影響はほぼ想定内で推移いたしました。5月のゴールデン・ウィーク期間には、当社オリジナル会員カード「スマイルカード」会員様を対象としたセールや企画セールなどを開催し好評を得ました。また、天候に恵まれたこともあり、バーベキュー用品などのレジャー関連商品やガーデニング用品の販売が好調に推移いたしました。当第1四半期連結累計期間は、消費税増税による影響を含めて前年を上回って推移いたしました。

これらの結果、営業収益は49億67百万円(前年同四半期比4.2%増)、セグメント利益は2億72百万円(前年同四半期比19.2%増)となりました。

[WILD-1事業]

WILD-1事業につきましては、4月の消費税増税に向けたメーカーの新製品の早期導入への関心も高い中、本格的なシーズン前の3月に、WILD-1会員セールを実施するなど積極的にお客様の購買意欲を盛り上げたこともあり、計画を上回る売上をあげました。4月以降は天候にも恵まれ、特にゴールデン・ウィーク後半は、初夏のアウトドアを楽しむお客様を中心に来店客数も増加し、安定的に売上を伸ばしました。これにより、当第1四半期連結累計期間は増税後の反動減を抑え好調に推移いたしました。前年同四半期と比べて、新規出店2店舗(つくば店、デックス東京ビーチ店)の開店に伴う初期費用が減少した要因も加え、前年同四半期を上回る利益を上げました。

これらの結果、営業収益は17億92百万円(前年同四半期比13.4%増)、セグメント利益は1億38百万円(前年同四半期比67.4%増)となりました。

[専門店事業]

専門店事業につきましては、オフハウス店舗において、消費税増税が近づくとともにブランドバッグ、腕時計および宝飾品などの高単価商品の動きが活発になり、売上を押し上げました。5月にはゴールデン・ウィーク期間中に買取りチラシの配布を実施するとともに、各店舗で個別の販売促進活動を実施いたしました。買取りについては、売上高に貢献している高級時計、ブランドバッグ等の高単価商品の買取りが増税後低迷し在庫不足となり、売上に影響が出ました。業務スーパー店舗においては、依然として仕入商品の値上げや物流コスト上昇など厳しい環境ではありますが、3月には、増税前の駆け込み需要で、週ごとに来店客数が増加し、売上を伸ばしました。4月以降は天候にも恵まれ、各地のイベント、お祭り、花見等の需要が好調に推移し、消費税増税の大きな影響を受けず、安定した売上げを確保いたしました。

これらの結果、営業収益は13億65百万円(前年同四半期比4.8%増)、セグメント利益は71百万円(前年同四半期比10.6%増)となりました。

〔店舗開発事業〕

店舗開発事業につきましては、前期と比較して賃貸物件が減少しておりますが、計画どおりに進捗しております。

店舗開発事業における営業収益は1億85百万円(前年同四半期比4.5%減)、セグメント利益は34百万円(前年同四半期比15.0%減)となっております。

(2) 財政状態に関する説明

資産・負債及び純資産の状況

当第1四半期連結会計期間末における総資産は、274億23百万円となり、前連結会計年度末に比べ15億93百万円の増加となりました。主な要因としては、有形固定資産の減少37百万円、敷金及び保証金の返還による減少34百万円の減少要因に対し、現金及び預金の増加9億16百万円、クレジット売上増に伴う売掛金の増加1億55百万円及び夏物商材の仕入による商品の増加5億37百万円の増加要因によるものであります。

負債は、220億71百万円となり、前連結会計年度末に比べ14億34百万円の増加となりました。主な要因としては、支払手形及び買掛金の増加10億35百万円、電子記録債務の増加2億円、短期借入金及び1年内返済予定の長期借入金の増加1億90百万円並びにその他流動負債の増加1億64百万円によるものであります。

純資産は、53億52百万円となり、前連結会計年度末に比べ1億58百万円の増加となりました。主な要因としては、配当金の支払29百万円の減少要因に対し、株式の市場価格の上昇によるその他有価証券評価差額金の増加20百万円及び当第1四半期連結累計期間において四半期純利益1億67百万円を計上したことによるものであります。この結果、当第1四半期連結会計期間末における自己資本比率は19.5%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成27年2月期の第2四半期(累計)及び通期の連結業績予想につきましては、平成26年4月10日に公表しました業績予想に変更はありません。

※ 上記予想は、現時点で入手可能な情報及び将来の業績に影響を与える不確実な要因に係る現時点における仮定を前提としております。実際の業績は、今後様々な要因によって異なる結果となる可能性があります。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成26年2月28日)	当第1四半期連結会計期間 (平成26年5月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	713,123	1,629,214
売掛金	232,956	388,128
商品	4,814,324	5,351,601
その他	590,332	623,686
貸倒引当金	△364	△530
流動資産合計	6,350,373	7,992,100
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	3,870,507	3,817,563
土地	11,772,945	11,772,945
その他(純額)	237,392	253,188
有形固定資産合計	15,880,845	15,843,697
無形固定資産	706,875	701,835
投資その他の資産		
敷金及び保証金	2,203,697	2,168,921
その他	688,694	716,966
貸倒引当金	△4	△2
投資その他の資産合計	2,892,387	2,885,885
固定資産合計	19,480,108	19,431,418
資産合計	25,830,481	27,423,519
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,598,747	3,633,815
電子記録債務	504,105	704,772
短期借入金	3,997,670	4,134,372
1年内返済予定の長期借入金	2,746,455	2,800,318
未払法人税等	75,764	108,546
賞与引当金	—	77,500
ポイント引当金	210,200	190,433
その他	595,967	760,724
流動負債合計	10,728,909	12,410,481
固定負債		
長期借入金	8,017,903	7,851,380
退職給付引当金	734,087	739,766
役員退職慰労引当金	28,340	28,340
資産除去債務	115,977	116,412
長期預り敷金保証金	470,470	448,665
その他	541,055	476,339
固定負債合計	9,907,833	9,660,904
負債合計	20,636,742	22,071,385

(単位:千円)

	前連結会計年度 (平成26年2月28日)	当第1四半期連結会計期間 (平成26年5月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,926,000	1,926,000
資本剰余金	1,864,000	1,864,000
利益剰余金	1,529,903	1,668,139
自己株式	△232,567	△232,567
株主資本合計	5,087,335	5,225,572
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	106,477	126,561
繰延ヘッジ損益	△73	—
その他の包括利益累計額合計	106,403	126,561
純資産合計	5,193,739	5,352,133
負債純資産合計	25,830,481	27,423,519

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位:千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成25年3月1日 至平成25年5月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成26年3月1日 至平成26年5月31日)
売上高	7,558,415	8,030,994
売上原価	5,384,118	5,743,997
売上総利益	2,174,297	2,286,996
営業収入	294,720	286,949
営業総利益	2,469,018	2,573,946
販売費及び一般管理費	2,225,662	2,244,776
営業利益	243,355	329,169
営業外収益		
受取利息	278	64
受取配当金	868	830
受取保険金	872	1,933
その他	770	599
営業外収益合計	2,790	3,427
営業外費用		
支払利息	88,910	83,431
その他	528	151
営業外費用合計	89,439	83,582
経常利益	156,706	249,014
特別利益		
投資有価証券売却益	1,189	—
貸借契約解約益	—	11,536
特別利益合計	1,189	11,536
特別損失		
固定資産除売却損	—	3,068
投資有価証券評価損	6,364	—
貸借契約解約損	15	—
特別損失合計	6,379	3,068
税金等調整前四半期純利益	151,516	257,482
法人税、住民税及び事業税	42,729	99,484
法人税等調整額	△65	△9,844
法人税等合計	42,663	89,640
少数株主損益調整前四半期純利益	108,852	167,841
四半期純利益	108,852	167,841

四半期連結包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位:千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成25年3月1日 至平成25年5月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成26年3月1日 至平成26年5月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	108,852	167,841
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	31,405	20,083
繰延ヘッジ損益	—	73
その他の包括利益合計	31,405	20,157
四半期包括利益	140,257	187,999
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	140,257	187,999

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第1四半期連結累計期間(自平成25年3月1日至平成25年5月31日)

報告セグメントごとの営業収益及び利益の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連 結損益計 算書計上 額(注)3
	ホームセン ター	WILD-1	専門店	店舗開発	計				
営業収益									
外部顧客への営業収益	4,769,688	1,580,125	1,302,356	194,132	7,846,302	6,833	7,853,136	—	7,853,136
セグメント間の内部 営業収益又は振替高	—	—	—	3,267	3,267	16,350	19,617	△19,617	—
計	4,769,688	1,580,125	1,302,356	197,399	7,849,569	23,183	7,872,753	△19,617	7,853,136
セグメント利益	228,376	82,635	64,334	40,870	416,218	5,577	421,795	△178,440	243,355

(注)1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産事業及び保険代理店事業等を含んでおります。

2 セグメント利益の調整額△178,440千円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△178,440千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第1四半期連結累計期間(自平成26年3月1日至平成26年5月31日)

報告セグメントごとの営業収益及び利益の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連 結損益計 算書計上 額(注)3
	ホームセン ター	WILD-1	専門店	店舗開発	計				
営業収益									
外部顧客への営業収益	4,967,671	1,792,520	1,365,264	185,416	8,310,873	7,070	8,317,944	—	8,317,944
セグメント間の内部 営業収益又は振替高	—	—	—	3,267	3,267	16,054	19,321	△19,321	—
計	4,967,671	1,792,520	1,365,264	188,683	8,314,140	23,124	8,337,265	△19,321	8,317,944
セグメント利益	272,189	138,292	71,128	34,753	516,362	4,155	520,518	△191,348	329,169

(注)1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産事業及び保険代理店事業等を含んでおります。

2 セグメント利益の調整額△191,348千円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△191,348千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。